

発行日：令和7年1月1日
発行元：双葉消防本部 総務課
所在地：檜葉町山田岡字仲丸1-110

新年のご挨拶

令和7年を迎え、双葉郡民の皆さまには穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

双葉郡民の皆さまにおかれましては、広域消防行政全般にわたりご理解とご支援を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、令和6年能登半島地震が元旦に発生し、多くの住民が被災いたしました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆さまに深く哀悼の意を表します。また、被災された方々に対しお見舞いを申し上げます。

全国では、8月には宮崎県日向灘を震源とする地震により、南海トラフ地震臨時情報の発表、また9月20日からの大雨では東北地方と北陸地方の日本海側で記録的な降雨量により、これまでの経験を超えるような警戒行動や復旧途上での甚大な災害が発生いたしました。東北地方でも日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震発生が危惧されており、大津波被災の経験を踏まえ人命最優先の消防活動をしてまいりたいと考えております。

双葉郡内における災害発生状況は、火災件数は昨年より減少いたしておりますが、救急件数は増加傾向にあり、65歳以上の搬送割合が微増しております。一方、熱中症は、その危険性の認識が高まり搬送者は一昨年前に比較し昨年は半減し入院を要しない方が多くを占めております。これからも火災予防及び予防救急の啓発に務め被害の軽減、傷病者の救命及び悪化防止に努めてまいります。

双葉消防本部は、「全力でその先へ双葉消防！」をスローガンに掲げ震災以降、関係機関のご支援を受けながら人的消防力の充足、消防車両の整備更新を計画的に進めております。特定帰還居住区域整備等の管内情勢の変化を見極め、住民の皆様の心の拠り所となれるよう元気な消防の姿をお見せするとともに、安全の確保及びふるさとの復興再生と、住民の皆様の幸福度が向上するよう、全署所・全職員の力を結集して対応してまいります。

結びに本年が、皆さまにとって良き年となりますようにご祈念申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。



双葉地方広域市町村圏組合
消防長事務取扱

吉田 淳

第22回双葉地方消防職員意見発表会

令和6年11月13日、富岡消防署において「第22回双葉地方広域消防職員意見発表会」を開催しました。

今回の発表会には各署より4名の職員が出席し、日頃から各々が消防業務を通じて体験したことに基づき消防防災に対する考え方、発展性について発表しました。

審査の結果「伝える思いは自分の言葉で」のタイトルで業務上のコミュニケーション方法について発表した穴戸消防士長が最優秀賞に選ばれ、令和7年2月14日に福島市で開催される第48回福島県消防職員意見発表会に出場することとなりました。



最優秀賞 穴戸 消防士長

避難指示区域内における大規模火災対応訓練

令和6年10月4日(金) 浪江町において「避難指示区域内における大規模火災対応訓練」を実施しました。この訓練は、避難指示区域内において大規模な火災が発生したことを想定し、県内応援消防本部、緊急消防援助隊、各関係機関との広域応援体制の確立を目的に行われ、22機関、約250名が参加しました。



避難指示区域内における多数傷病者対応訓練

令和6年11月1日(金)「避難指示区域内における多数傷病者対応訓練」を実施しました。避難指示区域内において多数の傷病者が発生したことを想定し、県内応援消防本部、医療機関等との連携体制の確立と放射線への理解を深めることを目的に行われ、28機関、約200名が参加しました。

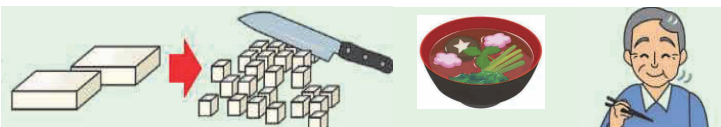


1月は餅の窒息が急増します！

不慮の事故で亡くなる高齢者の約半数は「気道閉塞を生じた食品の誤嚥」が占めています。年齢が上がるほど救急搬送は増加し、特に1月は餅を食べる機会が増えるので注意が必要です。

お餅を食べるときには

- ①小さく切っておく
- ②食べる前に先にお茶や汁物を飲んで喉を潤しておく
- ③よくかんで、唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込む



高齢者になると窒息のリスクが高まる



※ イラスト：消費者庁WEBサイトより引用

令和6年度全国統一防火標語 『守りたい 未来があるから 火の用心』



連絡先

双葉消防本部 0240-25-8523
富岡消防署 0240-22-2119
檜葉分署 0240-25-2119
川内出張所 0240-38-2119

消防指令センター 0240-25-8561
浪江消防署 0240-34-4111
葛尾出張所 0240-29-2119

